

社会人として知っておきたい日本のこと
グローバルリーダーに必要な国際教養力

一般社団法人国際教養振興協会
代表理事 東條英利

My PROFILE プロフィール

東條 英利 (とうじょうひでとし)

一般社団法人国際教養振興協会 代表理事
東條英利事務所 代表
神社文化評論家 (神社人代表)

<http://www.icpa.jp>
<http://tojo-hidetoshi.jp>
<http://jinjajin.jp>



CARRER 経歴

1972年生まれ。駒沢大学文学部国文学科卒業 (近代文学専攻「芥川龍之介論」)。第40代内閣総理大臣を務めた東條英機氏の本家曾孫 (長男のみ「英」の字を継承) にあたる。

1997年、東証一部上場企業、株式会社ベルーナに入社。2000年より香港に赴任。現地金融会社の設立から運営、現地ローカル・スタッフの採用、管理など統括責任者として現地法人の経営全般に携わる。

2004年帰国後に株式会社ソリトン入社。ローソンチケット関連のWEBディレクター就任。2006年、社会事業コンサルタントとして独立。河口湖を中心に自然体験型研修や社会事業プログラムに従事。2009年、全国8万社の「神社」情報体系化を目指した「神社人 (神社検索サイト)」を起案。関連書籍の執筆・監修を行い、日本の伝統文化、国民性、教養などをテーマにした講演・ツアーを全国各地で展開 (200本以上・のべ2万人以上参加)。

2013年、一般社団法人国際教養振興協会を設立 (東京・大阪・広島)。2015年、「お正月の理解」を目的とした「注連縄作りのプロジェクト」を全国各地で展開 (2016年、全国14会場、500名近く動員)。同年、戦後70年を節目にメディア各社にも取り上げられ、オーストラリアのテレビ番組、AP通信、The Japan Timesといった国外メディアにも登場している。

著書には「日本人の証明 (学研)」、「神社ツーリズム (扶桑社)」、監修作品に「神社の基本 (エイ出版)」、「人生を切り開く成功神社100」などがあり、「別冊正論」や「週刊ダイヤモンド」などでの執筆経験もある。インタビュー記事は「産経新聞」「朝日新聞」「毎日新聞」ほか多数あり。



研修カリキュラム：グローバル・リーダーに必要な国際教養力

▼カリキュラム概要

グローバル化・多様化が進む現代社会！人と人との本当の信頼関係を作るためには果たして何が必要だと思いますか？実は、「Personality（個性）」とは「Identity（主体性）」と「Humanity（人間性）」の両面から評価されます。そして、その「Identity」はその自身の帰属を示す「Locality（土着性）」と「Sociality（社会性）」と深い関係にあります。まずは、自分自身の正当なる評価を高めるために、自らの帰属領域を示す、国や地域、社会の基本について学び、海外の方を含め、多種多様な人々と深い信頼関係を築くことのできるグローバル・リーダーの育成を目指します。

※海外駐在前研修にも十分お役立ていただけます。

▼具体的内容 所要時間：180分

1. 間違いだらけの国際感覚～なぜ、海外で恥をかく日本人が多いのか？
 - (1) 教養の差は信用の差～外国人が認める日本人
 - (2) 表面ばかりをみていて中身を見ようとしない日本人～グローバル社会（Global Stage × Local Identity）の到来
2. 生まれ育った国の意味や価値を知る
日本とは？日本らしさとは？リーダーに必要な基礎教養力。
3. 日本人の意味や価値を知る
あらゆる年中行事、文化風習、社会通念のはじまりとは？
世界にない日本語！日本の常識・海外の非常識から海外で失敗しない理解力を創る。
4. 教養力を身につけるテクニック
「教養」と「知識」の違いを知る！理解のある区別と理解のない差別の分かる人へ
「無関心」と「無関係」の違い！自身に潜む客観的事実とオリジナル・ストーリーを思い描ける自分へ
5. 質疑応答